

名古屋大学加速器質量分析計を利用して行われた
学部学生の卒業論文及び大学院博士課程の修了論文リスト
2006（平成18）年度

名古屋大学加速器質量分析計を利用して行われた
学部学生の卒業論文及び大学院博士課程の修了論文リスト
平成 18 (2006) 年度

学部卒業論文

瀧上 舞 (名古屋大学理学部地球惑星科学科)

: Variations of C/N ratios, ^{13}C and ^{15}N values in human bone sections

(古人骨の同一個体内における骨部位の違いによる C/N 比、 $d^{13}\text{C}$ 値、 $d^{15}\text{N}$ 値の相違)

伊藤恒太 (名古屋大学工学部物理工学科)

: 炭素同位体比を用いた森林大気中 CO_2 輸送量評価法の開発

今西 健 (名古屋大学農学部応用生物科学科)

: 土壌有機炭素の長期動態の解明と温度上昇が滞留時間に及ぼす影響

宮田菜子 (金沢学院大学美術文化学部文化財学科)

: 富山県氷見市大境洞窟遺跡出土の貝化石を用いた放射性炭素年代測定

赤木啓祐 (東北大学理学部地圏環境科学科)

: 大和堆コア KT05-9 P-2 による最終氷期-後氷期の日本海古環境の復元

大学院博士課程前期 (修士課程) 修了論文

大森貴之 (名古屋大学大学院環境学研究科)

: Establish of Archaeological Chronology with AMS ^{14}C Dating and
Palaeodiet Analysis with Stable Isotopic Ratios of Human Bone Remains from
the Kaman-Kalehöyük Site, Turkey

永治健太郎 (名古屋大学大学院理学研究科)

: 樹木年輪中 ^{14}C 濃度変動を用いた紀元前 4 世紀極小期における太陽活動の周期性
の研究

馬場 健 (東北大学大学院理学研究科)

: フブスグル湖集水域の植生変遷による第四紀環境変動の解明